

【令和7年3月25日策定】

## 【山形県白鷹町】 校務DX計画

### 1. 校務DXの現状

本町では、別紙「白鷹町「GIGAスクール構想」の実現ロードマップ」に記載のとおり、教職員用コンピュータ、統合型校務支援システム及び学習系・校務系ネットワークの整備を行いGIGAスクール構想の推進を行っている。

各教職員には、主に成績処理や校務事務、関係各所と連絡調整を行うための校務用端末と授業等で使用する学習者用端末（教職員用）の2台を整備し校務を行っている。また、GIGAスクール構想において利用可能となった1人1台端末でのクラウド環境にて教職員間でのICT及びクラウド利活用実践の共有や各種研修について推進してきた。

### 2. 校務DXの課題

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」において令和5年3月8日に提言された「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」の内容や、令和6年12月26日に通知された「「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果（速報値）」（以下、チェックリストの結果という。）から、本町における課題が以下のとおり挙げられる。

#### （1）教職員と保護者間の連絡のデジタル化

「児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡」や「保護者へ発信するお便り・配付物」についてクラウドサービスの整備・活用進んでいないため、教職員の働き方の改善に効果的とされる保護者連絡について早急に取り組む必要がある。

#### （2）学校内の連絡のデジタル化

チェックリストの結果では、「教職員への調査・アンケート」や「教職員間の資料共有」については活用が進んでいるものの、校内研修や会議などにおける「オンライン化」や「協議でのクラウド活用」、教職員間の「情報共有や連絡でのクラウド活用」が進んでいないことから、児童生徒の学びと相似形の研修等の在り方などについて検討していく必要がある。

#### （3）FAXでのやり取りや押印の見直し

チェックリストの結果から、日常の業務において教育委員会や外部とのやり取りに恒常的なFAXの送受信や教職員や保護者との手続きなどに押印・署名を要する書類が多く残っており、クラウド環境を活用した校務DXを阻害していることから継続的な業務見直しが必要である。

### 3. 校務DXの今後の計画

本町では、令和7年度の学習者用端末更新においてChrome OSへの変更を行う。これを契機に2nd GIGAにおける端末利活用及び個別最適で協働的な学びの推進をより一層進めるとともに校務DXについても抜本的な見直しを検討していく。

また、上記2. の課題に基づき、以下のとおり校務DXに向けた検討を進める。

#### (1) クラウドツールを活用した保護者連絡及び教職員研修等のDX

新たにLINEを活用した保護者連絡ツールを導入し「児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡」や「保護者へ発信するお便り・配付物」について教職員の業務効率化及び保護者の利便性向上に取り組む。

また、教職員のグループウェアを活用した研修のあり方を検討し、校内研修や会議などのオンライン化、チャットやファイルの共同編集など非同期コミュニケーションを意識した、児童生徒の学びと相似形の教職員研修等に取り組む。

#### (2) FAX、押印による手続きの見直し

クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害しているFAXや押印による手続き等について、抜本的な業務見直しに着手しながら制度や文書規定などの見直しを積極的に行っていく。

#### (3) 次世代の校務DX環境構築に向けた各種ツールの導入検討

今後の校務用端末や校務支援システムの更新について、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入やネットワーク統合及びゼロトラストセキュリティの導入による教職員端末1人1台化などについて検討を行ない、教職員の働き方改革、教育活動の高度化に向けて取り組む。